

自己を生かす

1 学年通信

No.18

平成 27 年 10 月 30 日(金)

学校目標：「相手に生きることによって 自己を生かす」より…

～ 一人ひとりの生徒が自己表現・自己実現ができるようお願いを込めて ～

文責：西澤

◆職業講演会

20日(火)に様々な職種や立場の方から「生き方」、「働く理由」、「働くことの大切さやよさ」をお聞きし、これからの生き方を考えたり、今中学生としてやっていくべきことを考えたりしました。進路に関する学習が始まりましたが、まだスタートしたばかりです。1年の学習に続いて、2年では職場体験学習、そして3年の進路選択につなげていきます。「働く」ことは決して先のことではありません。自分の将来について(まだまだ漠然としたものでもよいので)考えながら、将来社会人として活躍できる力を中学校生活で着実に身につけていってほしいと思います。



・最初に聞いた方のお話では、「夢を叶えるために、小さな目標からどんどん大きな目標を達成する。」、次の方のお話は「壁にぶつかっても『あきらめない』それを乗り越える方法を見つけることが大切。」と話していただきました。印象に残ったので大切にしていきたいです。

・普段聞けないような貴重な話をたっぷり聞くことができました。覚えておきたい言葉がたくさん出てきて、生き方の価値観も変わりました。話をお聞きして学んだことを生かしたいです。

◆福祉施設との交流

21日(水)は地域にある福祉施設との交流に行ってきました。1組は満点の星・いなりやま共同作業所、2組は老人保健施設ひまわり、3組はショートステイ千曲・千曲デイサービスセンターと交流し、ゲームをしたり歌を発表したりしてきました。相手のことを考えたり思いやったりする気持ちを学ぶことができました。

・ペットボトルボウリング係でした。近くにおいてボトルに当てやすくしました。高齢者の方々が楽しそうにやってくれたので、とてもよい交流になったと思います。

・交流の仕方を色々考えました。みんなで「どうやったらルールがしっかり伝わるか？」など考えました。当日は、相手のことを考えてお互いが楽しくできたと思うのでよかったです。

・自己紹介を大きな声で言ったので相手に伝わりました。高齢者の方々と楽しくふれ合いながら、交流ができたのでよかったです。

・うまく皆さんとお話できるか心配でしたが、交流を進めていくうちに、しっかりと話せるようになったので、うれしかったです。

(裏面：11月の予定)